

政策分析シート（平成24年度）

政策名	心豊かにたくましく生きる子どもの育成と生涯学習社会の形成	政策No	04	部名	教育委員会事務局		
				部長名	谷嶋	内線	3300
関連部名	子育て支援部						
行政評価事業体系	分野	子育て教育都市[]					
目的	未来を拓き、たくましく生きる子どもを育成するために、学校教育の充実を図るとともに生きがいや自己実現、人生の豊かさなどの源となる生涯学習やスポーツ活動等を促進する。						
指 標	政策の成果とする指標名	指標の推移					指標に関する説明
		21年度	22年度	23年度	24年度 (見込み)	目標値 (28年度)	
	荒川区学力向上のための調査 小学校基礎達成率（算数）	82.1%	-	-	-	-	達成率%は22年度以降活用型に変更のため基準変更
	荒川区学力向上のための調査 中学校（数学）基礎達成率	59.9%	-	-	-	-	達成率%は22年度以降活用型に変更のため基準変更
	荒川区学力向上のための調査 小学校活用（国語）	-	59.8	65.0	65.0	70.0	活用型の目標値を設定
	荒川区学力向上のための調査 小学校活用（算数）	-	54.8	65.0	65.0	70.0	活用型の目標値を設定
	荒川区学力向上のための調査 中学校活用（国語）	-	43.1	50.0	65.0	70.0	活用型の目標値を設定
	荒川区学力向上のための調査 中学校活用（数学）	-	59.4	60.0	65.0	70.0	活用型の目標値を設定
	不登校発生率（小中合計）	1.05%	1.03%	1.09%	1.00%	0.89%	不登校ゼロを目標にする
	生涯学習センター利用者数	111,696	118,444	139,236	120,000	140,000	延べ利用者数（多目的広場、PC室を除く）
屋内体育施設の利用者数	678,249	648,124	666,685	685,000	700,000		
現状と課題 （指標分析）	<p>「荒川区学校教育ビジョン」で示した方向性を具体化し、新学習指導要領への確に対応するための、計画期間を平成23年度～25年度とする「第二期学校教育ビジョン推進プラン」に基づき、学校教育に係わるさまざまな施策を展開している。</p> <p>各小・中学校の学力の向上と特色ある教育活動を充実・活性化するため、「学校パワーアップ事業」により、各校の創意と工夫のあふれる教育活動の支援を図っている。学校パワーアップ事業のうち、学力向上マニフェストについては、実効性ある取り組みが求められている。</p> <p>児童生徒の読書活動を促進し、調べ学習などの主体的な学習活動を支援し、授業の展開にも寄与するため、学校図書館の充実に取り組んでいる。図書冊数も国の図書標準に対して、平成23年度で134%に達している。さらに司書等の資格を持つ学校図書館指導員を全校に常駐配置して、学校図書館の活性化と国語力の向上を図っている。こうした取り組みの結果、読書量が年々増加し、23年度は1ヶ月あたり小学生で13.4冊、中学生で3.9冊となっている。</p> <p>不登校問題の解消に向けて、小学校への臨床心理士の巡回相談回数の拡充、中学校への臨床心理士配置に加え、スクールソーシャルワーカーを教育センターに配置して、家庭や関係機関との連携を強化することにより、児童生徒の問題行動や不登校問題の解決に取り組んでいる。こうした結果、23年度における不登校発生率は小学校で0.15%、中学校で3.0%となった。</p> <p>区民一人一人が幸せを実感できる生涯学習社会の実現をめざした、生涯学習推進計画に基づき、施策を展開している。計画の重点施策である荒川コミュニティカレッジは、区民の地域への関心を深め、地域活動の担い手となる人材を育成し、地域社会の活性化を図ることを目的としている。受講生は、すでに町会長になったり、区や都の委員に就任したり、グループを作ってまちづくりに取り組むなどの実績を残している。</p> <p>高齢化や健康志向の中で、スポーツ活動等を通して、いつまでも健康で暮らしたいとの希望が強く、多様なスポーツ環境の整備・促進が課題である。</p>						
今後の方向性	<p>「第二期学校教育ビジョン推進プラン」に基づき、学校教育の充実に努めていく。</p> <p>生涯学習推進計画に基づき、区民が知識や経験を地域社会に生かすことができるような生涯学習の基盤整備に努めていく。</p> <p>スポーツのさまざまなニーズに応えるため、運動施設の整備充実に取り組んでいく。</p> <p>新たな図書館の建設に向けた検討を進めていく。</p>						

政策分析シート（平成24年度）

政策を構成する施策の分類			
施策名	政策推進のための分類		分類についての説明・意見等
	24年度設定	25年度設定	
確かな学力の定着・向上[04-01]	重点的に推進	重点的に推進	児童・生徒に確かな学力を身に付けさせる施策を進める中で、国語力の育成を核として、一層重点的に取り組む。また、学校パワーアップ事業を中心に各学校の実態に応じた学力向上策を具現化する。
創意と工夫にあふれた教育の推進[04-02]	推進	推進	学校のカリキュラムの質的向上を図ることにより、地域に信頼される特色ある学校づくりを推進する。
体験学習等の推進[04-03]	継続	継続	本施策を通し、体験活動の充実を図り、地域と一体となった児童・生徒の健全育成に努める。
学校における健康・体力づくり[04-04]	推進	推進	児童・生徒が生活の多くを過ごす学校における保健活動の役割は重要である。法に定める学校設置者としての責任を果たすとともに、生涯にわたる健康の基盤づくりを推進するうえで、必要な施策である。また、食育は子どもの健康づくりの基礎であり、学校給食の充実を図ることは、食育のより一層の充実に資することから、優先度の高い施策である。
魅力ある教師の育成[04-05]	推進	推進	子どもの教育に情熱と使命感をもつとともに、荒川の教育に誇りをもち、意欲的に取り組む教師を育成する重要施策として、一層の充実を目指す。
学校施設等の整備[04-06]	継続	継続	学校施設をできるだけ長く使用するためにも、計画的な修繕が必要である。また、改修にあわせて、理科室の整備などの教育環境の整備・充実を進めることが重要である。
小中学校・幼稚園の運営[04-07]	推進	推進	義務教育の実施は自治体の基本的な責務であり、その根幹である小中学校の運営や就学前の幼児教育の充実には、社会の変化に対応しながら着実に推進する必要があるため、重要な施策である。
	重点的に推進	推進	子どもや保護者のニーズに応え、安心して教育を受けられる環境を整備するため、各種支援策を講じていくことは重要である。
余暇を利用した学習機会の提供[04-08]	継続	継続	既存施設を有効活用した本施策は区民ニーズも高く、運動・遊びの場が十分にあるとはいえない区内において、子どもの健康と体力の向上に寄与する施策である。
地域と連携した学校づくり[04-09]	推進	推進	開かれた学校づくりを目指し、保護者に対する説明責任を果たすとともに、学校経営の透明性と信頼性の向上を目指す。
子どもの健全育成[04-10]	推進	推進	学校派遣型の教育相談室の新たな体制づくりを核として、区内全体の教育相談体制の充実・改善を目指す。
家庭教育の推進[04-11]	推進	推進	家庭における教育はすべての教育の出発点であるので、引き続き家庭教育の推進は重要である。
生涯学習活動の支援[04-12]	推進	推進	区民の自主的な生涯学習を支援するために、学習する機会や場の提供、指導者の育成など、区が基盤整備に努めることは極めて大切であり、荒川コミュニティカレッジの運営など施策の優先度は高い。
図書館サービスの充実[04-13]	推進	重点的に推進	図書館は、区民の生涯学習活動の拠点として最も身近な存在であり、自立した区民の成長と地域の活性化の礎となる公共施設であることから、当該施策の優先度は高いと考える。 特に今年度からは、新図書館を含む施設の実施設設計に着手するとともに、新館で新たに提供するサービスの構築等に向けた具体的な準備作業に取り組む必要がある。
生涯スポーツの推進[04-14]	推進	推進	スポーツは、世界共通の人類の文化であり、心身ともに健康で文化的な生活を営む上で不可欠なものである。生涯健康都市を目指すためにも、区民へ生涯スポーツの推進を図る当該施策の優先度は高い。